

バロー純利益2.3倍増

9月中旬過去最高87億9400万円

バローホールディングス（HD）が11日発表した2020年9月中間連結決算は、純利益が前年同期比2・3倍の87億9400万円で、同社の中間決算として最高益となった。増益は2期ぶり。新型コロナウイルスの流行に伴う巣ごり需要の拡大でスーパーマーケット（SM）、ドラッグストア（DS）、ホームセンター（HC）の主要3事業の売り上げが好調に推移。売上高に相当する営業収益は9・1%増の3675億2300万円となり、26期連続の増収で過去最高を更新した。

巣ごもり商品、衛生用品好調

主力のSM事業は、バロー10店舗を改装して生鮮部門の売り場を広げ、精肉な

どの販売を強化。外出自粛の影響もあり、生鮮を中心に売り上げが好調だった。惣菜は新型コロナウイルスによる内食回帰で売り上げが一時鈍化した。新商品

導入で徐々に持ち直し、既存店売上高は7・1%増えた。

DS事業は、マスクや除菌関連商品などの衛生用品、巣ごもり需要に対応した食品、日用品の販売が伸びた。既存店売上高は3・4%増となった。

HC事業は、園芸やDIYなど巣ごもり商品の販売が伸びたほか、家電製品やエクステリアなどの高価格帯の商品の販売が好調に推移。既存店売上高は11・2%増えた。一方、スポーツクラブ事業は新型コロナウイルスによる店舗休業が響き、売上高は40・4%減

った。

損益面では、SM事業の生鮮売上比率が上がったことで、売上総利益率が大幅に改善。広告宣伝費など経費削減も増益に寄与した。営業、経常利益は前年同期から2倍を超え、いずれも過去最高となった。

上期の新設は43店舗、閉鎖は15店舗で、グループの9月末の総店舗数は1203店となった。

21年3月期は、10月からプライベートブランド（PB）商品を刷新するなど商品力を強化し、増収増益を見込む。

県内企業2020年9月中間決算

	売上高	経常損益	純損益	配当
バローHD				
(連)	367,523 (9.1)	17,500 (2.1倍)	8,794 (2.3倍)	25.00
(予)	710,000	26,000	11,000	53.00

【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2021年3月期予想。かっこ内は前年同期比増減率。配当の下段は年間配当予想。